無機剤で農薬革命をおこす！

殺虫・殺菌剤

サンケイ

園芸ボルドー

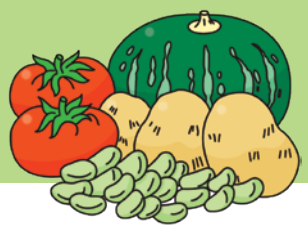
硫黄・銅水和剤

殺虫剤分類	UN	殺菌剤分類	M2,M1

無機銅と硫黄の混合剤であり
新JAS法に適合する薬剤です

製品情報はこちら

サンケイ化学株式会社



農林水産省登録 第4407号

サンケイ 園芸ボルドー

殺虫・殺菌剤

成分

塩基性塩化銅…61.0%
（銅として35.0%）
硫黄……25.0%
鉱物質微粉等…14.0%

性状

淡緑色水和性粉末
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
有効年限：5年
包装：500g×20

上手な使い方は…

- 希釈した薬液を噴霧機で**むらなく散布して**ください。
- 予防的な効果を発揮するので、**発病前もしくは発病初期から散布して**ください。
- 使用回数・使用時期に制限はありませんが、**過度の連用散布は避けて**ください。
- 果実の汚れが心配な場合は、**展着剤「ブレイクスルー」**の添加をおすすめします。

適用病害虫と使用方法

登録内容は2024年8月7日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（10a当たり）	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
かんきつ	ミカンサビダニ チャノホコリダニ	500倍	200～700ℓ	－	－	散布	－	－
	そうか病 かいよう病 黒点病	400～800倍						
りんご	うどんこ病	800倍						
なし	黒斑病	400～800倍						
	黒星病	500倍		収穫後～発芽前				
もも	せん孔細菌病							
小粒核果類	かいよう病							
キウイフルーツ								
ぶどう	黒とう病 つる割細菌病 さび病 灰色かび病			－				
	べと病	800倍						
		4倍	1ℓ			無人航空機による散布		
		40倍	10ℓ					
	うどんこ病	800倍	200～700ℓ			散布		
	褐斑病 晩腐病	400～800倍						
豆類（種実・未成熟）	さび病		100～300ℓ					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（10a当たり）	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病 夏疫病	400～800倍	100～300ℓ	－	－	散布	－	－
うり類	べと病 炭疽病 うどんこ病							
たまねぎ	軟腐病	500倍						
かぼちゃ	果実斑点細菌病							
ぺぽかぼちゃ（種子）	べと病 炭疽病 うどんこ病	400～800倍						
きゅうり	斑点細菌病 褐斑病	500倍						
トマト ミニトマト	疫病	400～800倍						
	うどんこ病	800倍						
	葉かび病 すすかび病 トマトサビダニ	500倍						
いちご	うどんこ病	800倍						
てんさい	褐斑病							
こま	うどんこ病 斑点細菌病	500倍						

使用上の注意事項

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 高温時のうり類に対する使用は、薬害のおそれがあるのでさけてください。
- 広範囲の殺虫剤、殺菌剤と混用できるが、強アルカリ薬剤との混用はさけてください。
- マシン油乳剤との混用はさけてください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
  ①散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
  ②散布に当たっては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  ③散布液の飛散によって桑及び自動車やカラートタンの塗装等への影響を与えないように十分注意してください。
  ④散布中、薬液の漏れのないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  ⑤水源池、飲料用水、養殖池、養魚田等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
  ⑥特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
  ⑦作業終了後は次の項目を守ってください。
  （a）使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
  （b）機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- かんきつに使用する際は、薬害軽減のため炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- 本剤は蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- いちご及びぶどうに使用する場合、連用散布により葉に薬害を生じるおそれがあるので、注意してください。また、果実に汚れが残るおそれがあるので、着果期以降の散布は注意してください。
- 巨峰系（巨峰、ピオーネ）に対しては、散布時期によっては葉及び果実に薬害を生じるおそれがあるので、袋かけ前などの散布には注意してください。
- なしに使用する場合、若葉の頃の散布は薬害を生じるおそれがあるので、有袋栽培の大袋掛以降、新梢の伸びが停止してから散布してください。また、二十世紀以外の品種では果実着生時の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- りんごに使用する場合は、薬害の発生が懸念されるため必ず炭酸カルシウム水和剤を加用してください。また、複数回散布によって薬害を助長することがあるので注意してください。
- 新梢、葉に対する薬害軽減のため、銅に弱い品種や薬害の出やすい時期に使用する場合は、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- そらまめ、未成熟そらまめへの使用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所に置かないでください。

NIK-EB 2024.08S

サンケイ化学株式会社

東京本社 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11 第一下谷ビル3F TEL.03-3845-7951
東京営業部 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1 TEL.048-551-2122
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島2丁目14-6 新大阪第2ドイビル3F TEL.06-6305-5871